

「生活文化の伝承と多世代交流－共生のまちづくりに貢献する人材の育成－」

本校が位置する愛媛県西条市で少子高齢化や人口減少が進む中、持続可能な社会の構築に向けて、課題意識を持ち、生涯にわたって様々な人と協働しながら、地域課題の発見・解決を目指して主体的に行動し、生活文化の継承、生活産業の振興や多世代交流、共生のまちづくりに貢献する地域人材の育成を目的とする。

- コンソーシアムの構成機関（教育機関〔愛媛大学・小松小学校・小松中学校〕、愛媛県〔農林水産部漁政課、高校教育課〕、西条市〔小松総合支所・子育て交流センター・小松公民館〕、小松つばき会、(株)マルブン、(株)Deco）
- カリキュラム開発等専門家、地域協働学習実施支援員を会計年度任用職員として雇用
- 運営指導委員会（学校教育に専門的知識を有する者3名、関係行政機関の職員2名、学識経験者1名で構成）
- 研究推進委員会（校長を中心に校内推進体制として構築）

令和2年度の目標

取組状況

成果と課題

地域課題研究を各科目に位置付け、体系的・系統的に学習するカリキュラムの研究

「課題研究」「生活産業基礎」「家庭総合」「フードデザイン」「子どもの発達と保育」に加え、他教科・他科目、学校行事、課外活動の時間を利用して事業を実施

学習指導方法の研究
地域の生活産業・生活文化、多世代交流、共生のまちづくりを研究し、課題解決を図る。

- ・ 椿・魚食・はだか麦などの知識・技能習得
- ・ 椿の小物制作や鯛を使った学校給食メニュー考案による普及活動
- ・ 椿やはだか麦を使った商品開発

地域課題研究の
評価方法の研究

アンケート結果の分析によって、地域貢献したいと考える生徒を育成できているかを把握

コンソーシアムとの
連携の在り方について
の研究

コンソーシアム構成機関とともに、研究成果を広め、地域を活性化する

- 成 果
 - ・ 生徒の意識向上と目標値の達成（生徒アンケート結果）
「課題解決能力が向上した」55%（7月）→78%（2月）
「地域社会に役立ちたい」53%（7月）→78%（2月）
 - ・ 全教員対象のワークショップの実施することで、他教科・科目との連携による商品開発
→「美術Ⅰ」、「数学A」でロゴやパッケージのデザイン
 - ・ 学校給食メニューの開発による幼稚園・小学校との交流
→開発した県産真鯛を用いた給食メニューが3校で提供
 - ・ 外部講師による講義等（12回）と県内研修（3回）及び県外研修（3回）による伝統産業についての知識習得
- 課 題
 - ・ 学校全体で取り組める教科等横断的な学習の取組
 - ・ 県や全国レベルのコンテストへの挑戦
 - ・ 生徒が企画から関わる形での多世代交流
 - ・ 地域の飲食店・企業家・スポーツチーム他の官民の新たな諸機関との連携した普及活動
 - ・ マスコミの活用に加え、InstagramなどのSNSの利用